

令和7年度特別の教育課程の実施状況等について

1 子供の自己評価結果

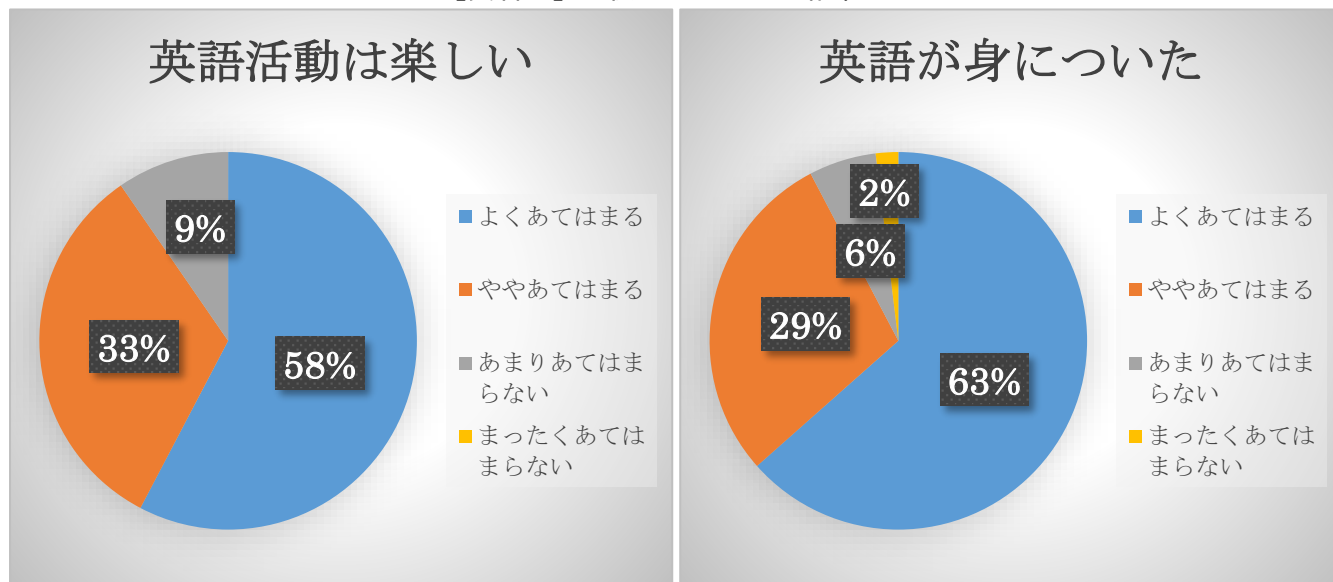
令和7年度1年生から4年生の子供にアンケートを行ったところ、【資料1】のような結果となりました。「英語活動が楽しいですか」という質問に対し、「あてはまる」、「ややあてはまる」と回答した子供は、全体の91%でした。また、「英語活動で英語が身についた」と回答した子供は、全体の92%でした。

子供たちは、アンケート結果だけでなく、毎日行われている10分間の動画視聴も意欲的に参加しています。リズムにのりながら外国人の先生の発音を真似して覚えたり、英語の発音を聞き取って自分なりに答えたり、友達と挨拶を交わしたりして、英語を身につける楽しさを味わっていることが分かります。

グラフをよく見ると、「英語活動が楽しい」という質問に対して、「あまりあてはまらない」と回答をした子供が9%、「英語が身についた」という質問に対して、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」と回答した児童は8%と、否定的な回答をした児童が一定数いることが分かります。動画視聴を中心として行われる英語活動に対応できていないことが原因として考えられます。こうした子供に対して、教師と一緒に活動したり、声をかけたりするなどの支援を行い、英語活動が楽しく行えるようにしていきたいと考えます。

すべての子供が、楽しみながら意欲的に取り組めるように、一人一人に目を向けた指導をしていきます。

【資料1】子供のアンケート結果



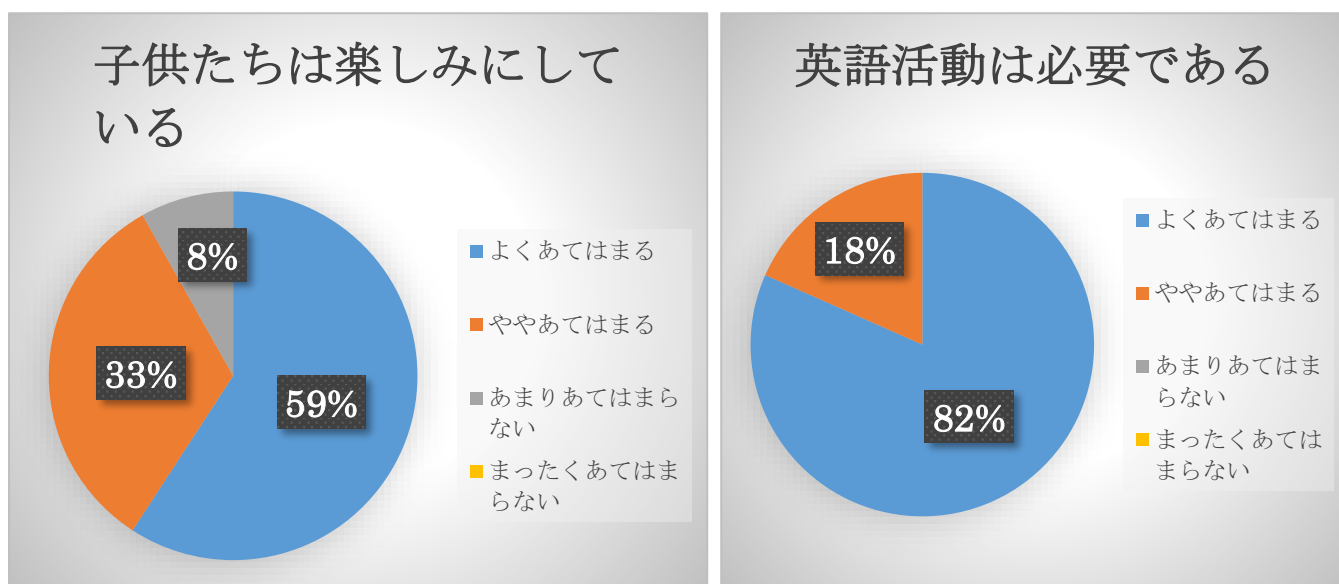
2 保護者の評価結果

令和7年度英語活動について保護者にアンケートを行ったところ、【資料2】のような結果となりました。「子供たちは楽しみにしていますか」という質問に対して、「あてはまる」、「ややあてはまる」と答えた保護者は、全体の92%でした。また、「英語活動は

必要ですか。」という質問に対して、「あてはまる」、「ややあてはまる」と答えた保護者は、全体の 100%でした。このことから、多くの保護者が本校での英語活動について関心を持ち、子供たちから英語活動の様子を聞き、活動内容に期待をしていることが分かります。

生活の中に英語が不可欠になっている今日、子供たちが楽しみながら英語を聞いたり、話したりしながら英語の力を伸ばしていける活動になるように努めていきたいと思えます。

【資料 2】保護者のアンケート結果



3 まとめ

資料 1 から、子供たちは、毎日の動画視聴を通して、楽しみながら英語活動に取り組み、活動内容をおおむね理解することができていることが分かります。また、資料 2 からは、保護者は子供たちの将来を見据え、よりよい成長のために、学校での英語活動に興味や期待を抱いていることが分かります。

子供たちにとって、小学校の早い段階から英語に慣れ親しみ、英語力を身につけていくことは、大変有効だと思います。学校で毎日行われている「英語タイム」では、外国人の先生の発音を聞きながら、様々に工夫された楽しい学び方で学習を行っています。

今後の課題としては、英語活動で学習したことを日々の生活の中で生かしたり、生活の中で英語と接する機会を増やしたりすることで、より円滑に楽しく聞く力や話す力を身につけられるとよいと考えます。子供たちが身につけた力を生かし、自信をもって英語活動ができるように今後も取り組んでいきたいと思えます。